

# 総合的な学習の時間

## 総合的な学習の時間 目 標

探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のように育成することを目指す。

- (1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

### ◎児童の状況

- 学習に対し意欲的に取り組み、自ら調べる力が定着してきています。
- 調べ学習に意欲的に取り組む児童が多いです。
- 図書資料やインターネットなどの情報をそのまま写して、終わってしまう傾向があります。
- 自分で課題を決めたり、まとめ方や発表の仕方を考えたりすることが苦手な児童がいます。

### ◎指導についての課題

- 自ら課題を見付け、見通しをもって調べたり、まとめ方や発表方法を工夫したりする活動を充実させること。
- インターネット以外の多様な調べ方(図書館の利用やインタビューなど)ができるようにすること。
- 自分の考えをもち、分かりやすく言葉や図・写真などを用いて伝え合う機会を増やすこと。
- GIGA スクール端末の活用。



### ◎授業革新推進に向けての具体的な方策

- 身近な出来事や行事、地域に関わる事、環境、オリンピック・パラリンピックなどをテーマにし、自分の生活と関連付けて探求的な学習ができるようにします。
- 目的に応じた情報の集め方や調べ方を学ばせます。安易にインターネットに頼らず、図書資料も活用した調べ学習ができるように司書との連携を図ります。
- 発表の仕方や表現の手段・方法を提示し、新聞・パンフレット・紙芝居・ICT機器やコンピュータによるプレゼンテーションなど、多様な選択肢の中から効果的な方法を選ばせます。
- 発表の場を設定し、相手を意識したまとめ方や発表の仕方や聞き方を工夫する時間を十分に確保していきます。

### ◎言語活動の充実

- 活動計画を話し合う場を設け、友達と協力して進んで活動する態度が育つよう支援していきます。
- 言語で分析したり、まとめたり、表現したりする学習活動を重視します。
- まとめた情報を発信する場では、言語活動に重点を置き、適切な方法で伝えるように考えさせます。

### ◎その他

- ・表現活動の充実のため、他教科等との関連指導や教科横断的な指導を工夫していきます。
- ・家族や地域の一員としての自覚や自然との関わりを深めることができるように、家庭と連携して取り組んでいきます。
- ・児童自身や他者の気付きを自覚できるように支援していきます。
- ・探求的な学習の過程でプログラミングを体験しながら、論理的思考力を身につける活動を行います。